

第1章 全体ビジョン

第3節 都市景観形成の方針

Chapter 1

Sustainable
Cities
Initiatives

1. 都市景観形成方針

前節で掲げた都市景観形成の5つの目標を達成するため、市域を景観ゾーン・景観軸・景観拠点に分類し、それぞれの都市景観形成方針を設定します。

景観ゾーン

土地利用や市街化の状況から、同質の景観特性を持つ領域を有し、広がりやまとまりのある都市景観の形成を目指す地域を景観ゾーンとして位置づけます。

- ◆市街地景観ゾーン
- ◆住宅地景観ゾーン
- ◆武蔵野景観ゾーン
- ◆田園景観ゾーン

景観軸

本市の景観の骨格を形成し、連続性のある線的な都市景観の形成を目指す区域を景観軸として位置づけます。

- ◆見沼田圃景観軸
- ◆荒川景観軸
- ◆元荒川景観軸
- ◆水の景観軸
- ◆道路景観軸
- ◆歴史的な道路景観軸
- ◆鉄道景観軸

景観拠点

本市の顔となる求心性のある地区や歴史文化の特色を色濃く残している地区、新たな市街地が形成される地区など、特色を生かした都市景観の形成を目指す地区を景観拠点として位置づけます。

- ◆都心景観拠点(大宮駅周辺・さいたま新都心周辺地区、浦和駅周辺地区)
- ◆副都心景観拠点(日進・宮原地区、武蔵浦和地区、美園地区、岩槻駅周辺地区)
- ◆歴史文化景観拠点(氷川神社・氷川参道、盆栽村、岩槻城下町、調神社)
- ◆身近な景観拠点(駅周辺景観拠点、施設・街並み景観拠点、みどりの景観拠点、社寺景観拠点)

■都市景観形成方針図



●景観ゾーン

- 市街地景観ゾーン
- 住宅地景観ゾーン
- 武蔵野景観ゾーン
- 田園景観ゾーン

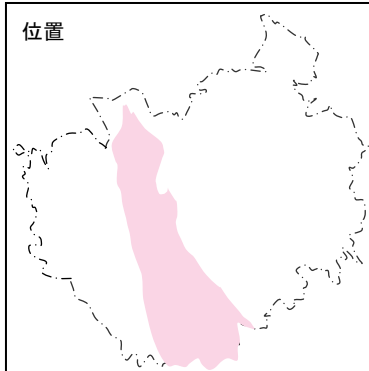
●景観軸

- 見沼田圃景観軸
荒川景観軸
元荒川景観軸
- 水の景観軸
- 道路景観軸
- 歴史的な道路景観軸
- 鉄道景観軸

●景観拠点

- 都心景観拠点
- 副都心景観拠点
- 歴史文化景観拠点
- 市界
- 区界

◆市街地景観ゾーン



<都市景観特性>

本市の中央部を占める市街地景観ゾーンは、大宮台地上を南北方向に縦断する JR 埼京線、JR 京浜東北線などの鉄道に沿った、交通の利便性が高い地域を中心に広がっています。

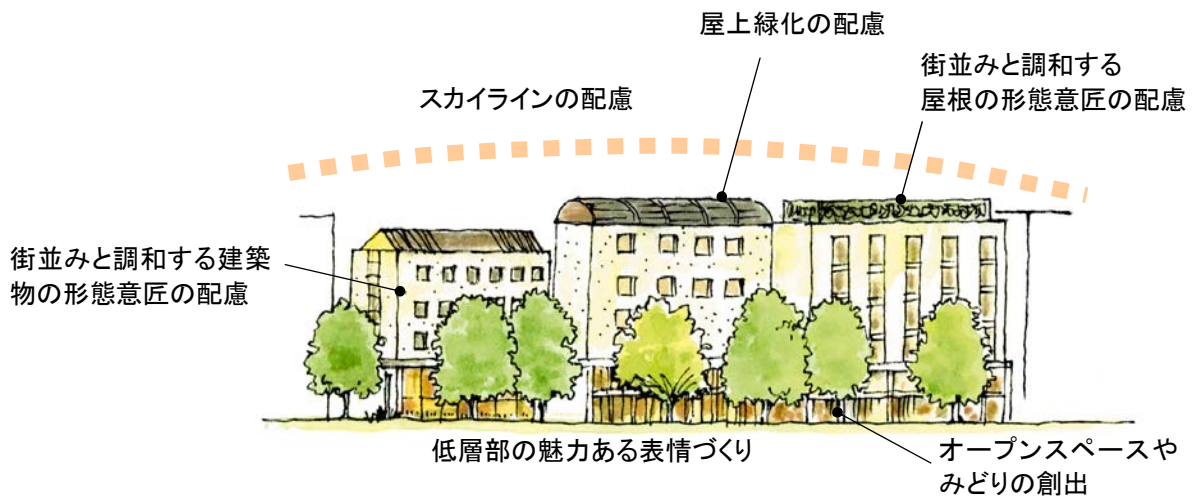
これらの市街地は、鉄道の各駅周辺を中心に、商業施設や業務施設のほか、住宅などが立地するなど、多様な都市機能が集積し、にぎわいが感じられる一方、様々な形態意匠の建築物や屋外広告物が立地し、まとまりのない都市景観も各所に見られます。また、近年、土地の高度利用(*)が進んでおり、都市型住宅などの立地も多く見られます。

<都市景観形成方針>

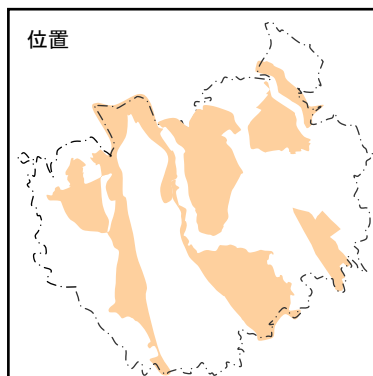
市街地景観ゾーンでは、本市の中心的な市街地として、風格やにぎわいの感じられる、魅力ある都市景観の形成を図ります。

- 周辺の街並みに調和した建築物や屋外広告物の形態意匠の配慮
- まちに開かれた空間の創出とみどりの保全・創出
- 安全で快適に回遊できる歩行者空間のネットワークづくり
- 屋上緑化の促進
- 地域住民の協力と参加を図り、周辺と調和する建築物などの高さのあり方を検討

■都市景観形成のイメージ



◆住宅地景観ゾーン



<都市景観特性>

主に低層の住宅地が広がる住宅地景観ゾーンは、本市の中央部を占める市街地景観ゾーンを、東と西から囲むように位置する市街地の縁辺部であり、落ち着いた都市景観が形成されています。

また、武蔵野景観ゾーン、田園景観ゾーン、見沼田圃や荒川、元荒川といった景観軸とも接しており、自然景観が身近なゾーンです。

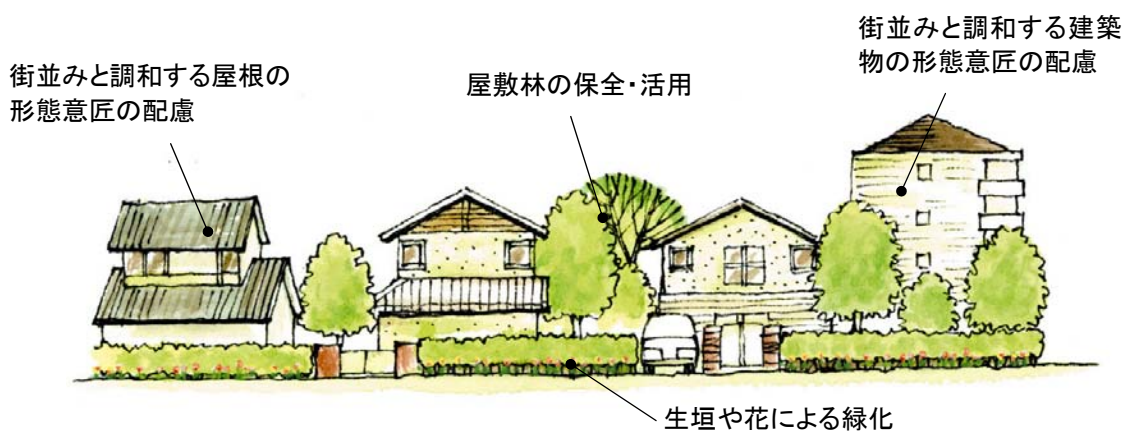
このほか、以前から立地する工業系施設が見られます。

<都市景観形成方針>

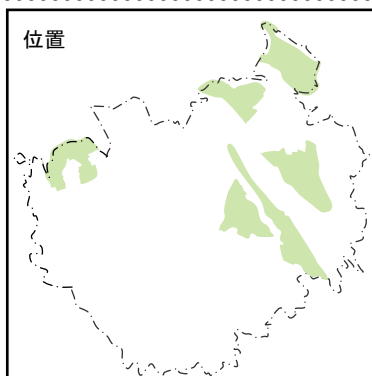
住宅地景観ゾーンでは、土地利用に応じてさらなるみどりの保全と創出を図るとともに、住宅地を中心とした、うるおいのある都市景観の形成を図ります。

- 低層住宅を中心とした街並みに調和した建築物の形態意匠の配慮
- 周辺の街並みに調和した商業施設や屋外広告物の形態意匠の配慮
- 屋敷林などの保全や敷地内のみどりの創出
- 住宅地と調和した工業系施設の修景^(*)
- 地域住民の協力と参加を図り、周辺と調和する建築物などの高さのあり方を検討

■都市景観形成のイメージ



◆武蔵野景観ゾーン



<都市景観特性>

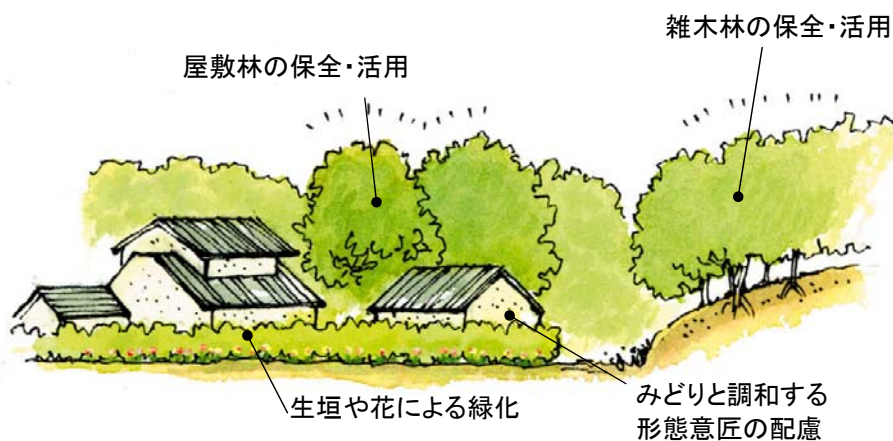
西区北部、見沼区南部、緑区東部、岩槻区北部、南部を占める武蔵野景観ゾーンでは、台地上の起伏のある地形に集落が点在し、雑木林、屋敷林や農地といったみどりが広がり、武蔵野の面影を感じさせる景観が形成されています。

<都市景観形成方針>

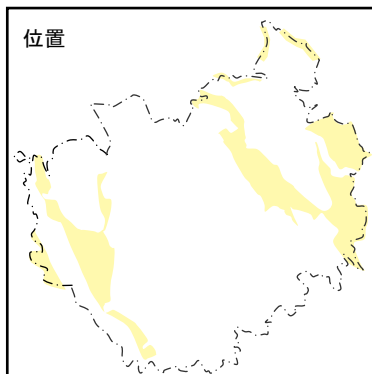
武蔵野景観ゾーンでは、地形や雑木林・屋敷林などの背景となる自然やみどりを大切にし、周辺と調和した都市景観の形成を図ります。

- 地形と一体となった斜面林や生垣、農地などのみどりの保全・活用
- 周辺と調和した建築物や屋外広告物の形態意匠の配慮
- 屋敷林や敷地内のみどりの保全・活用

■都市景観形成のイメージ



◆ 田園景観ゾーン



< 都市景観特性 >

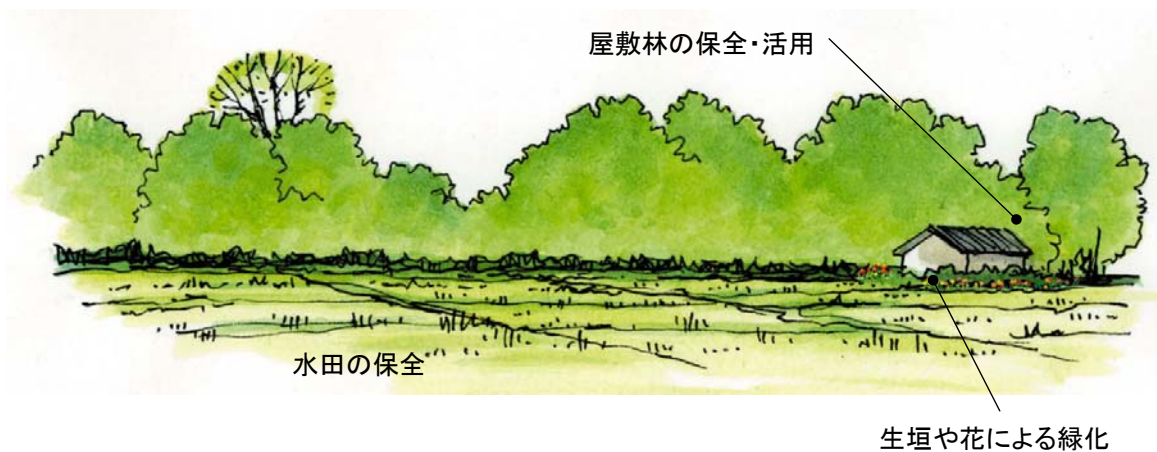
荒川、綾瀬川、元荒川に沿って広がる低地の田園景観ゾーンでは、広がりを持った水田を中心に低層の集落が点在する、のどかな田園景観が形成されています。

< 都市景観形成方針 >

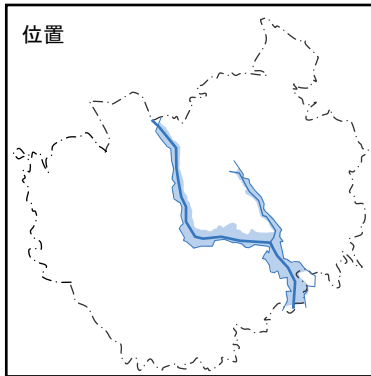
田園景観ゾーンでは、広がりのある水田の景観や点在する屋敷林、生垣などのみどりを保全するとともに、水と親しめる場づくりを進め、安らぎのある田園景観を守ります。

- 水田の保全・活用
- 屋敷林や敷地内のみどりの保全・活用
- 小川の保全・活用

■ 都市景観形成のイメージ



◆見沼田圃景観軸



<都市景観特性>

見沼田圃は、連続する斜面林を背景に、広がりがある農地や公園などの広大な自然景観資源を擁し、本市のシンボルとなる自然景観のひとつです。また、富士山などを遠方に望む眺望点(*)が各所に見られ、その広がりある自然景観は、首都圏でも貴重なみどりの空間を形成しています。

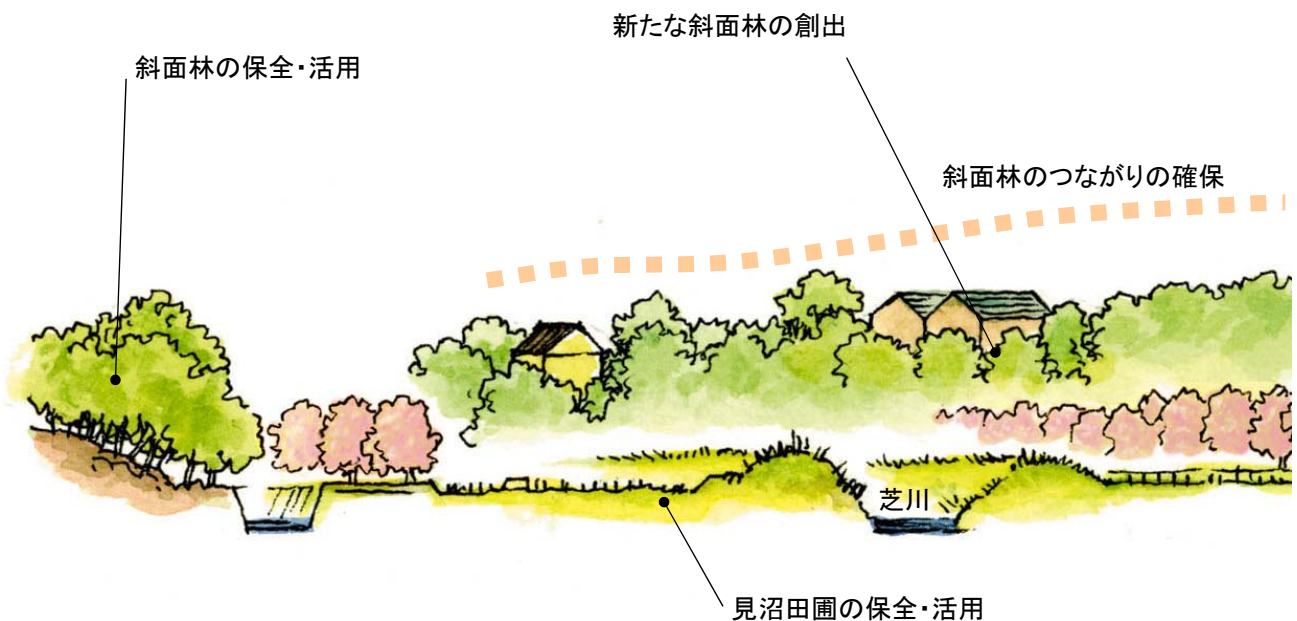
こうした、見沼田圃とその周辺における斜面林のみどりや芝川、見沼代用水などの水が一体となって、豊かな自然を感じさせています。

<都市景観形成方針>

見沼田圃景観軸では、見沼田圃と斜面林などを一体的に保全していくことを基本とし、眺望や斜面林に配慮し、調和のとれた都市景観の形成を図ります。

- 見沼田圃と斜面林の一体的な保全・活用
- 斜面林に調和した建築物や屋外広告物の形態意匠の配慮
- 斜面林とつながるみどりの創出
- 見沼田圃や斜面林からの眺望点の活用
- 見沼代用水と桜並木の保全・活用

■都市景観形成のイメージ

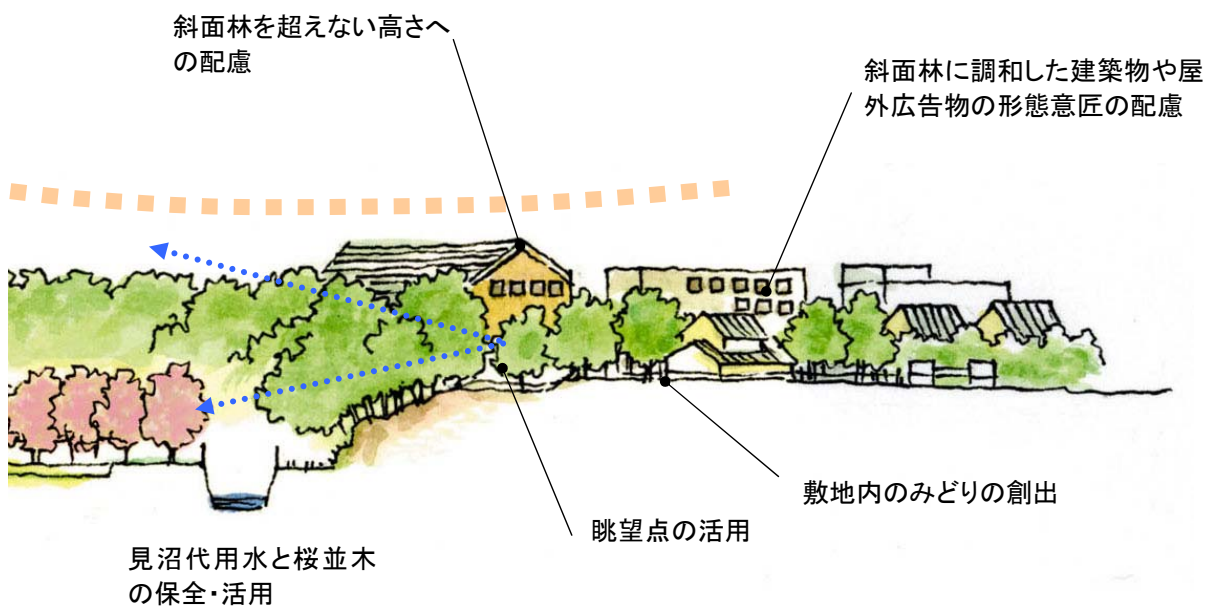




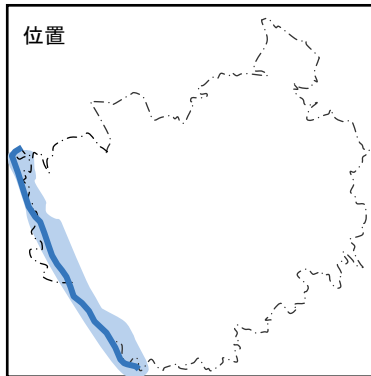
見沼田圃周辺の斜面林(見沼区)



見沼田圃(見沼区)



◆ 荒川景観軸



<都市景観特性>

荒川とその河川敷を含めた一帯の荒川景観軸は、広大な河川空間であり、河川敷などの広がりある自然の景観資源と、その背景となる遠方の富士山や秩父連山などを望む多くの良好な眺望点を有しています。

また、田島ヶ原サクラソウ自生地などの貴重な自然資源が見られるとともに、農地、公園や緑地、あるいは様々なレクリエーション空間としても活用されています。

<都市景観形成方針>

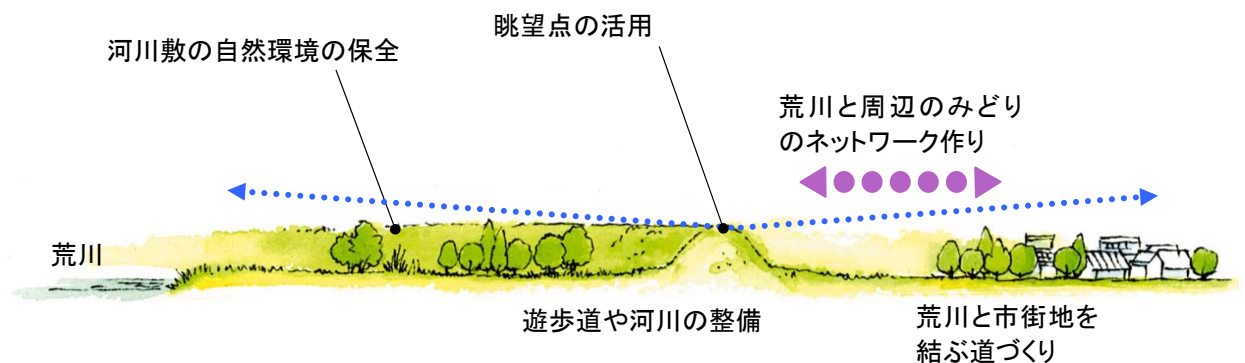
荒川景観軸では、荒川沿いに広がる自然や農地の保全・活用に努めるとともに、これらの豊かな自然景観との調和を図ります。

- 河川敷の自然環境や農地の保全
- 眺望点の活用
- 遊歩道やサイクリングロードの維持・整備
- 自然環境や親水性に配慮した河川の整備
- 荒川と市街地を結ぶ快適な道づくり
- 周辺地域の緑化などによる、荒川と市街地のみどりのネットワークづくり

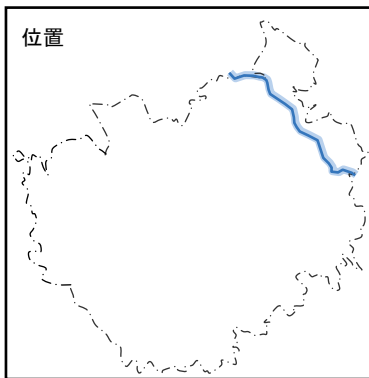


荒川(西区)

■ 都市景観形成のイメージ



◆元荒川景観軸



<都市景観特性>

元荒川とその沿川の樹林地などを含んだ元荒川景観軸では、一部で河畔林が迫り、広がりある自然の景観が形成されています。また、緩やかな曲線を描いて流れる河川が、道路や橋梁上などからの眺望において、変化のある連続的な景観を形成しています。

また、古くから栄えた岩槻城下町や日光御成道などの近くを流れることから、周辺には歴史的な景観資源も点在し、自然と歴史を包含する都市景観を形成しています。

<都市景観形成方針>

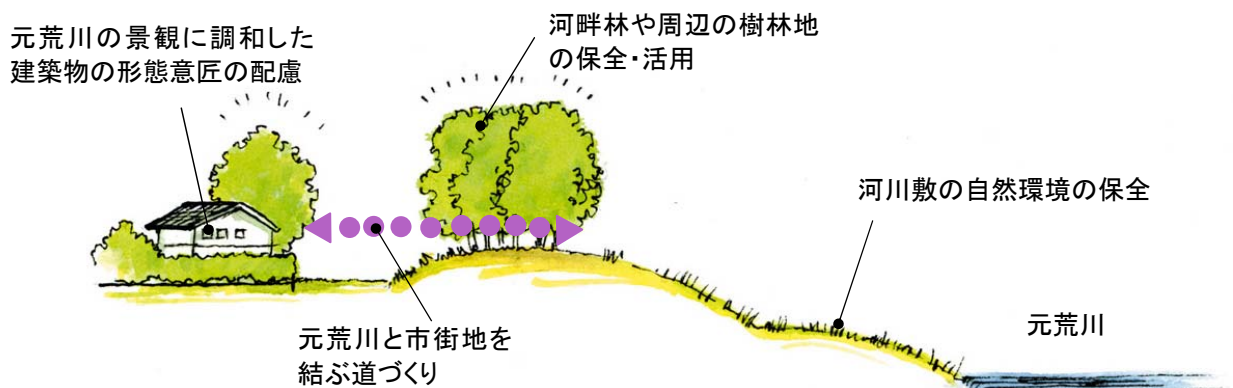
元荒川景観軸では、河畔林や周辺の樹林地、歴史資源などの保全や活用を図るとともに、水辺に親しめる都市景観の形成を図ります。

- 河川敷の自然環境の保全
- 元荒川への眺望点の活用
- 河畔林、周辺の樹林地や農地の保全・活用
- 遊歩道やサイクリングロードの維持・整備
- 元荒川と市街地を結ぶ安全で快適な道づくり
- 生態系、親水性や安全性に配慮した河川の整備
- 水辺の魅力をもつ橋梁や橋詰め(*)空間の活用
- 末田須賀堰や第六天神社周辺における良好な景観を生かす憩いの場づくり

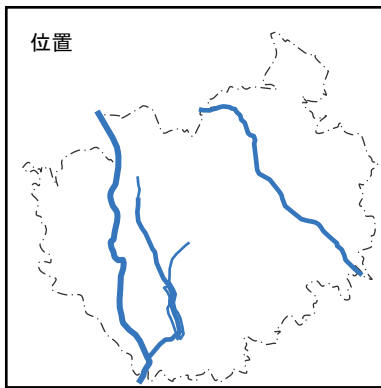


元荒川と末田須賀堰(岩槻区)

■都市景観形成のイメージ



◆水の景観軸—鴨川 綾瀬川 鴻沼川・高沼用水路 など



<都市景観特性>

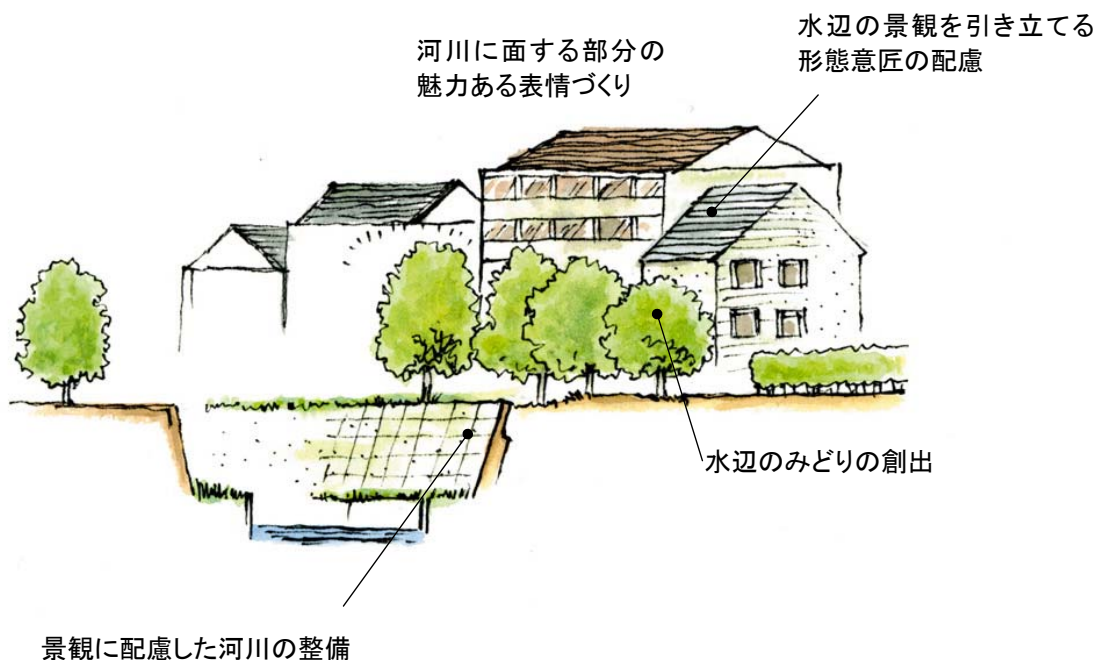
鴨川、綾瀬川、鴻沼川・高沼用水路などの河川や水路とその沿川から成る水の景観軸は、市街地を流れ、身近な生活空間にうらおいを与える、貴重な水とみどりです。しかし、一部では人工的な護岸、水質汚濁や不法投棄などが見られます。

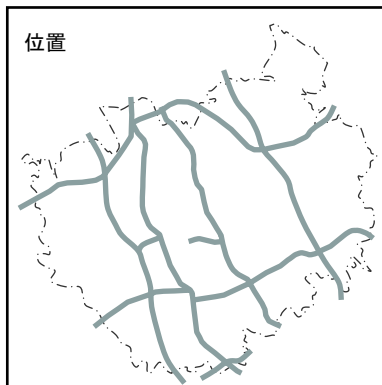
<都市景観形成方針>

水の景観軸では、河川や水路と周辺の街並みを一体的に捉え、水辺の景観を保全するとともに、水辺を生かした都市景観の形成を図ります。

- 生態系、親水性や安全性に配慮した河川の整備や水辺のみどりの創出
- 水辺の歩行者空間の確保
- 周辺の樹林地や農地などのみどりの保全・活用
- 周辺の街並みに調和した建築物や屋外広告物の形態意匠の配慮
- 水辺を引き立てるみどりの創出
- 水辺の魅力を高める橋梁や橋詰め空間の活用

■都市景観形成のイメージ





<都市景観特性>

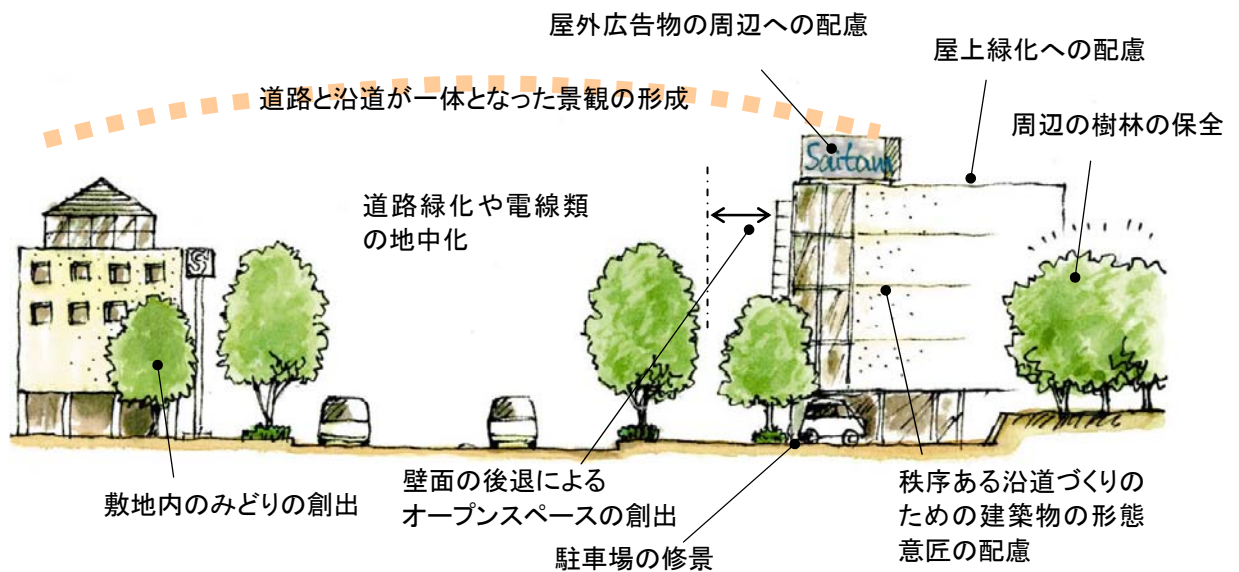
主要な幹線道路とその沿道から成る道路景観軸は、利用者に対して様々な景観を印象づける重要な要素です。近年では、電線類の地中化(*)や街路樹の整備が進み、ゆとりある歩行者空間を形成しているところもあります。しかし、屋外広告物などにより雑然としており、沿道の建築物の形態意匠などの連続性はあまり見られません。

<都市景観形成方針>

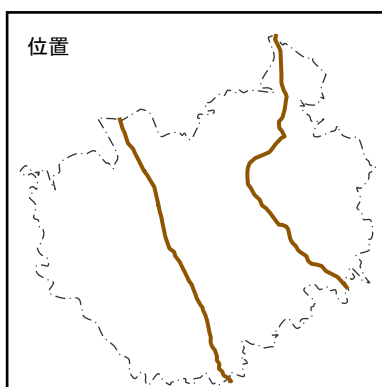
道路景観軸では、うるおいある道路整備を進めるとともに、沿道において周辺に調和する良好な都市景観の形成を図ります。

- 道路緑化の推進と快適に移動することができる歩道空間の確保
- 交差点などの結節点(*)の魅力づくり
- 建築物や広告物の形態意匠の配慮による秩序ある沿道づくり
- 沿道敷地のオープンスペースやみどりの創出
- 道路から見えるみどりなどの景観資源の保全・活用
- 電線類の地中化

■都市景観形成のイメージ



◆歴史的な道路景観軸—中山道 日光御成道 など



<都市景観特性>

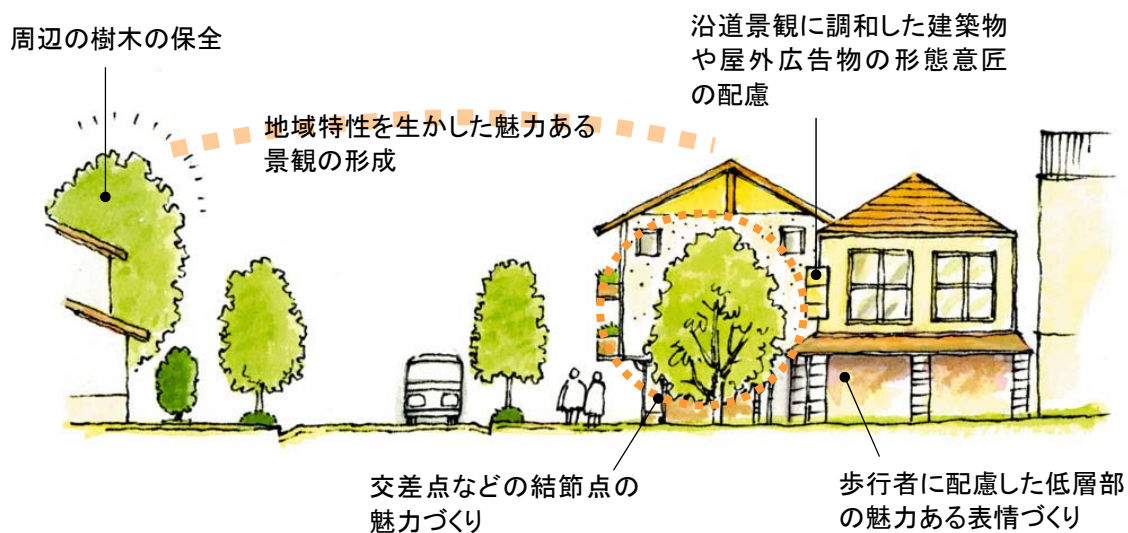
旧街道などの道路及びその沿道から成る歴史的な道路景観軸は、中山道、日光御成道などが挙げられます。これらの沿道には、歴史文化資源が見られるものの、埋もれた資源も多く、沿道の景観の形成において保全・活用が望まれます。

<都市景観形成方針>

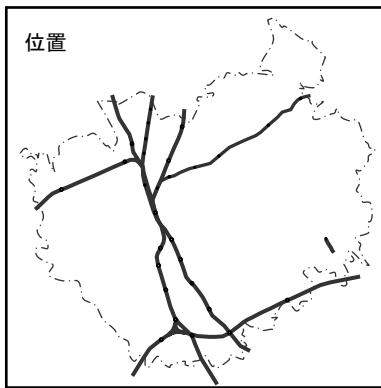
歴史的な道路景観軸では、沿道に残る歴史文化資源を保全し、活用を図ることで、歴史や文化に調和した良好な都市景観の形成を図ります。

- 道路緑化の推進と快適に移動することができる歩道空間の確保
- 交差点などの結節点の魅力づくり
- 沿道敷地のオープンスペースやみどりの創出
- 周辺のみどりや歴史文化資源の保全・活用
- 沿道景観に調和した建築物や屋外広告物の形態意匠の配慮
- 電線類の地中化

■都市景観形成のイメージ



◆鉄道景観軸



<都市景観特性>

鉄道とその沿線から成る鉄道景観軸では、車窓からの眺めが重要であり、沿線では見られることに対する配慮が望まれます。

一方、鉄道は騒音を伴い、高架となっているところでは、大規模な構造物となって視界が分断されています。しかし、周辺の緑化や一定の空間を設けることにより、景観に対する配慮をしているところも見られます。

<都市景観形成方針>

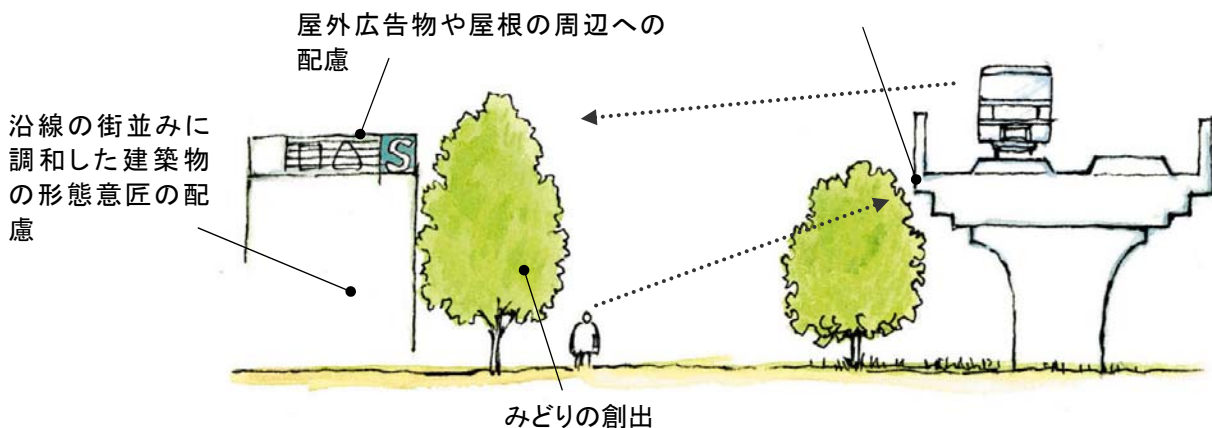
鉄道景観軸では、沿線の建築物や屋外広告物について、車窓からの視線に配慮するとともに、鉄道施設の修景などを図ります。

- 環境空間などの沿線の修景
- 周辺からの見え方に配慮した線路際や高架構造物などの修景
- 沿線のみどりの保全・創出
- 沿線の街並みに調和した建築物や屋外広告物の形態意匠の配慮



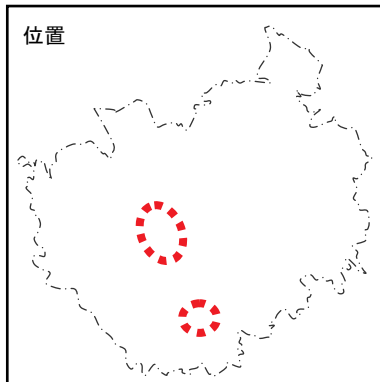
高崎線沿線(中央区)

■都市景観形成のイメージ



景観拠点

◆都心景観拠点—大宮駅周辺・さいたま新都心周辺地区 浦和駅周辺地区



<都市景観特性>

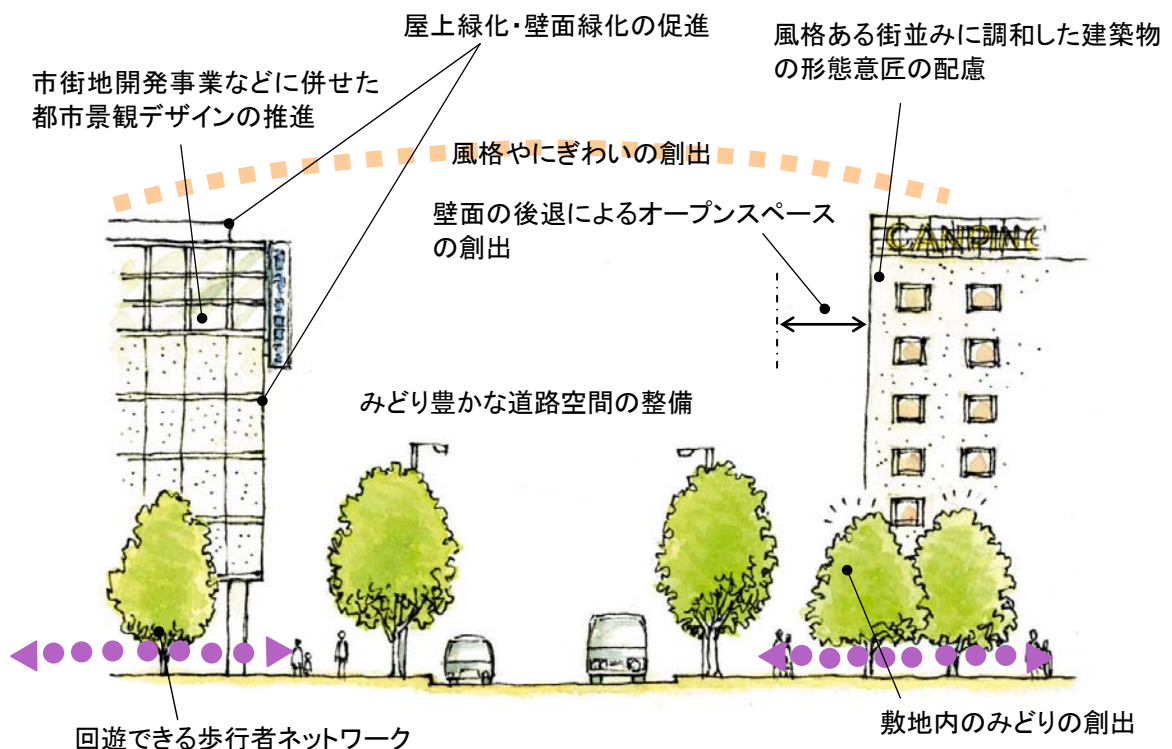
都心景観拠点は、大宮駅周辺・さいたま新都心周辺地区と浦和駅周辺地区という、高次都市機能(*)の集積により本市の都市活動の中心的役割が期待されている二つの拠点です。市内で最もにぎわいや活気を感じられる場所であり、公共、民間を問わず数多くの事業が進行し、その景観は日々変化しています。一方、古くから栄えた歴史を包含しており、歴史文化の感じられる様々な景観資源を随所に残しています。

<都市景観形成方針>

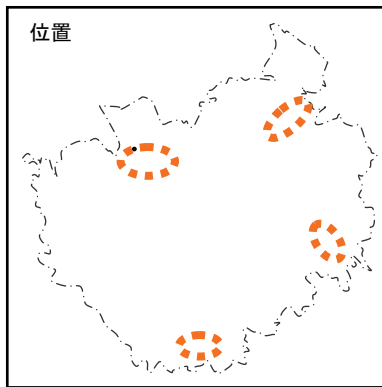
都心景観拠点では、周辺の歴史文化資源とのつながりに配慮し、風格やにぎわいの感じられる魅力を備え、本市の顔となる商業・業務地を中心とした都市景観の創出を図ります。

- 街並みづくりにおける建築物や屋外広告物の形態意匠の配慮
- 市街地開発事業などに併せた都市景観デザインの推進
- 魅力ある界隈づくり
- 安全で快適に回遊できる歩行者空間のネットワークづくり
- 沿道敷地のオープンスペースやみどりの創出
- 照明などによる魅力ある夜間の景観づくり
- 屋上緑化・壁面緑化(*)の促進

■都市景観形成のイメージ



◆副都心景観拠点一日進・宮原地区 武蔵浦和地区 美園地区 岩槻駅周辺地区



<都市景観特性>

副都心景観拠点は、日進・宮原地区、武蔵浦和地区、美園地区、岩槻駅周辺地区の4つの拠点であり、都心の機能を補完するとともに、本市の都市活動を多様化する役割を担っています。

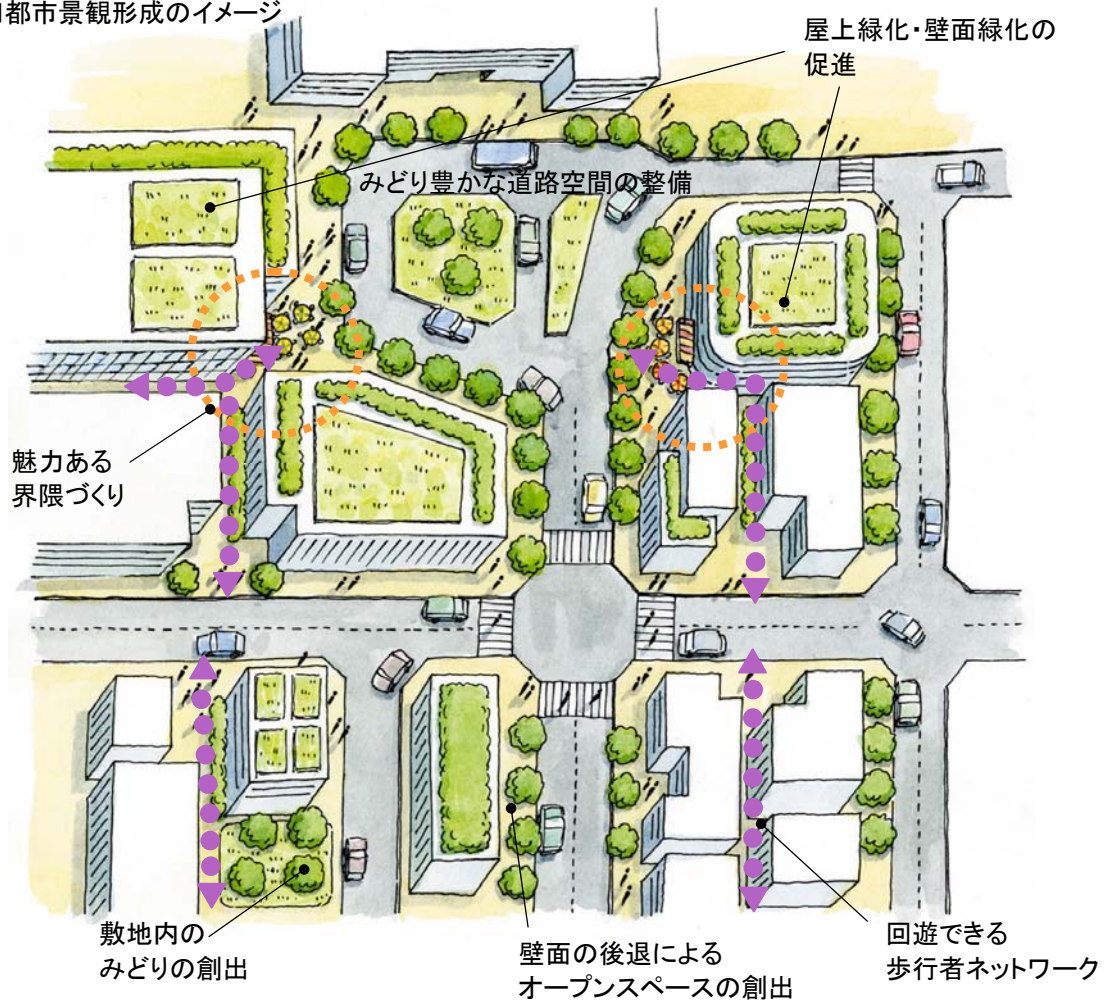
現在、都市基盤整備が進められている美園地区や多くの歴史文化資源を有する岩槻駅周辺地区など、それぞれ地区の特性に応じた景観の形成が進められています。

<都市景観形成方針>

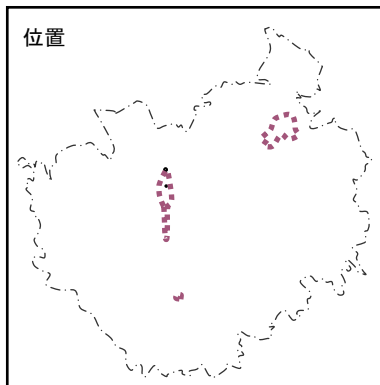
副都心景観拠点では、各地区における都市基盤の整備とともに、地区の特性に応じ、個性の感じられる、魅力ある拠点の都市景観の形成を図ります。

- 街並みづくりにおける建築物や屋外広告物の形態意匠の配慮
- 市街地開発事業に併せた都市景観デザインの推進
- 安全で快適に回遊できる歩行者空間のネットワークづくり
- オープンスペースやみどりの創出
- 照明などによる魅力ある夜間の景観づくり
- 屋上緑化・壁面緑化の促進

■都市景観形成のイメージ



◆歴史文化景観拠点—氷川神社・氷川参道 盆栽村 岩槻城下町 調神社



＜都市景観特性＞

歴史文化景観拠点は、氷川神社や氷川参道一帯、盆栽村、岩槻城下町や調神社で、多くの歴史文化資源が立地し、特色のある文化がいきづく拠点です。周辺の市街化が進行し、一部では、敷地の細分化が見られるなどの街並みの変化もありますが、地域を特色づける歴史文化資源は大切に保全、管理されています。また、みどり豊かな周辺と調和した建築物や屋外広告物の形態意匠の配慮などによりその景観資源が活かされ、散策や観光などを目的に多くの人を訪れています。

＜都市景観形成方針＞

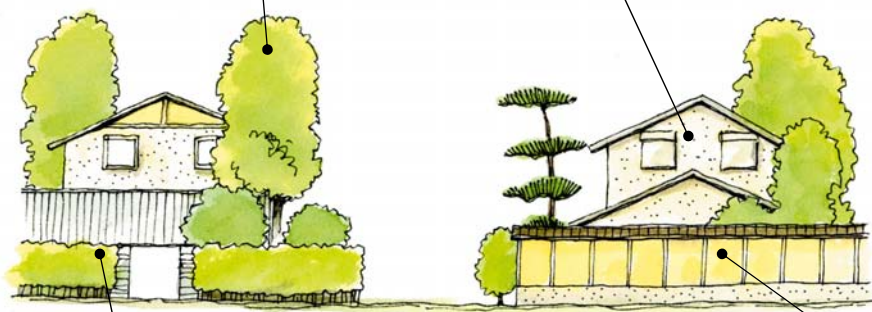
歴史文化景観拠点では、歴史文化資源の保全を図るとともに、地域の歴史的なイメージと調和する都市景観の形成を図ります。

- 歴史文化資源の保全・活用
- 歴史的なイメージなどを感じさせる都市景観形成のための建築物や屋外広告物の形態意匠の配慮
- みどりの保全・創出
- 歴史文化資源を生かした安全で快適に回遊できる歩行者空間のネットワークづくり
- 周辺と調和した垣根・板塀などの整備

■都市景観形成のイメージ

既存樹木の保全・活用

みどりと調和する建築物の形態意匠の配慮



生垣による敷地内のみどりの創出

周辺と調和する板塀など

◆身近な景観拠点

<都市景観特性>

身近な景観拠点は、生活と密接にかかわりながら培われてきた地区の景観であり、駅周辺、公共公益施設や特色ある街並み、主な公園緑地や池沼、特色ある社寺及びその周辺です。各拠点の特性に応じて地区の特色ある景観の形成が望まれます。

<都市景観形成方針>

身近な景観拠点では、地区の特色ある景観資源を保全・活用し、周辺を含め一体的に調和のとれた良好な都市景観の形成を図ります。

○駅周辺景観拠点

- ・駅周辺の街並みに調和した建築物や屋外広告物の形態意匠の配慮
- ・オープンスペースやみどりの創出
- ・駅前広場における安全な歩行者空間の確保

○施設・街並み景観拠点

- ・地区の景観形成を先導する建築物の整備
- ・施設・街並みに調和した建築物や屋外広告物の形態意匠の配慮
- ・オープンスペースやみどりの創出
- ・安全で快適な歩行者空間の確保

○みどりの景観拠点

- ・みどりの保全・創出
- ・水質の改善と親水性を持った水辺づくり
- ・水とみどりに調和した建築物の形態意匠の配慮

○社寺景観拠点

- ・歴史文化資源の保全・活用
- ・社寺に調和した建築物の形態意匠の配慮
- ・境内地(*)のみどりの保全

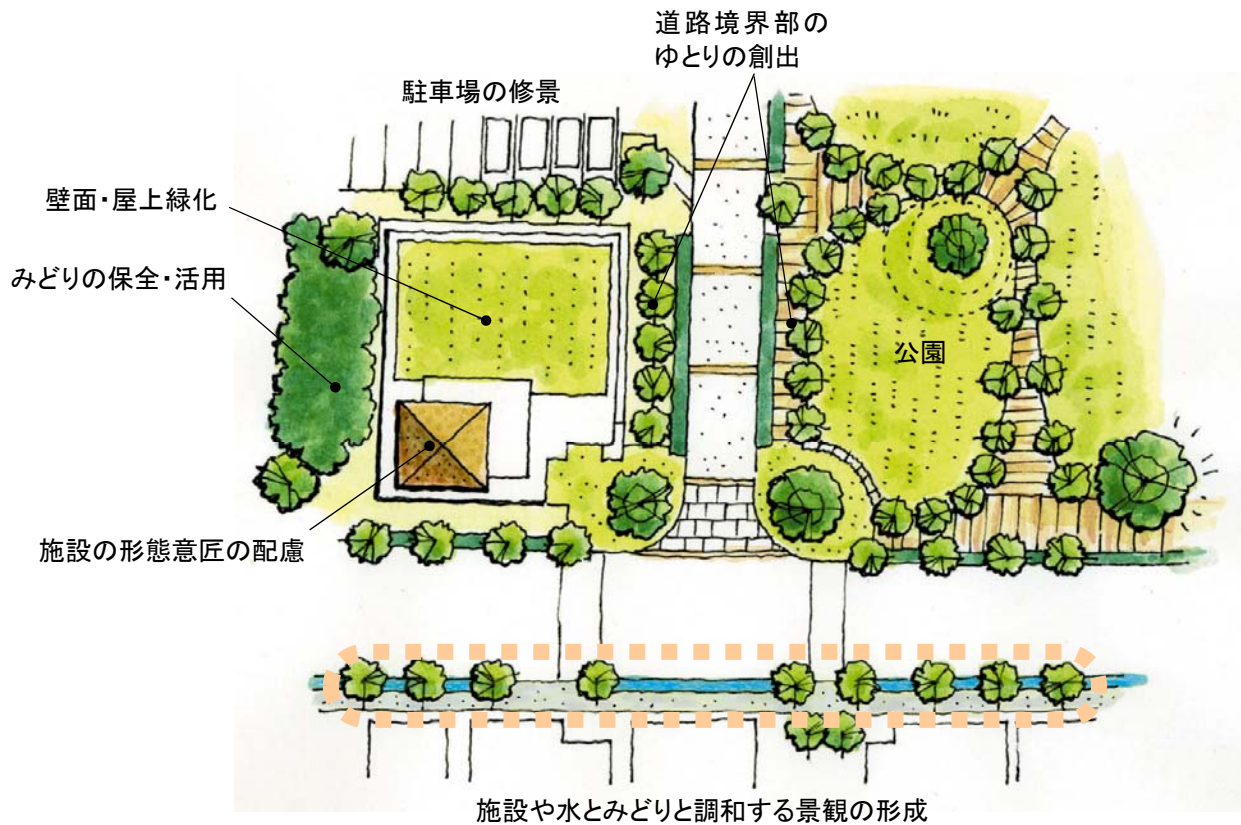


オープンスペースやみどりに配慮した宮原駅(北区)

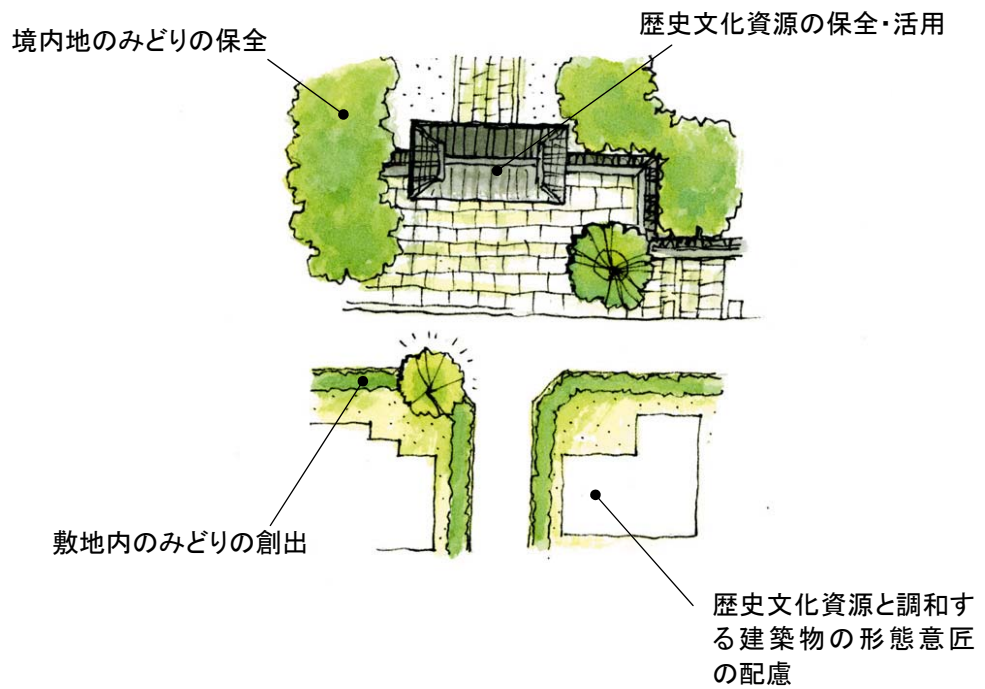


玉蔵院(浦和区)

■都市景観形成のイメージ(施設・街並み、みどり)



■都市景観形成のイメージ(社寺)



2. 重点的に取り組む景観軸と景観拠点

都市景観形成方針では、市域を景観特性により景観ゾーン・景観軸・景観拠点に位置づけ、都市景観形成の方針を設定しました。

特に、さいたま市らしさを創出し、本市の魅力を広く内外にアピールする上で重要なものとして、「都心地区」の風格やにぎわいの創出、「見沼田圃と斜面林」、「盆栽村と氷川神社周辺」、「岩槻城下町」の自然や歴史文化資源の保全と活用、「中山道や日光御成道」の沿道景観の向上を挙げ、この2軸、3拠点の都市景観形成を重点的かつ積極的に推進します。

都心景観拠点

都心地区の景観形成

見沼田圃景観軸

見沼田圃と斜面林の景観形成

歴史文化景観拠点

盆栽村と氷川神社周辺の景観形成

歴史文化景観拠点

岩槻城下町の景観形成

歴史的な道路景観軸

中山道や日光御成道と沿道の景観形成

3. 都市景観形成の推進に向けて

本節、都市景観形成の方針と次節、都市景観形成の推進は次のように関係しています。

	都市景観構造	都市景観形成方針
景観ゾーン	市街地景観ゾーン	本市の中心的な市街地として、風格やにぎわいの感じられる、魅力ある都市景観の形成を図ります。
	住宅地景観ゾーン	土地利用に応じてさらなるみどりの保全と創出を図るとともに、住宅地を中心とした、うるおいのある都市景観の形成を図ります。
	武蔵野景観ゾーン	地形や雑木林・屋敷林などの背景となる自然やみどりを大切にし、周辺と調和した都市景観の形成を図ります。
	田園景観ゾーン	広がりのある水田の景観や点在する屋敷林、生垣などのみどりを保全するとともに、水と親しめる場づくりを進め、安らぎのある田園景観を守ります。
景観軸	見沼田圃景観軸	見沼田圃と斜面林などを一体的に保全していくことを基本とし、眺望や斜面林に配慮し、調和のとれた都市景観の形成を図ります。
	荒川景観軸	荒川沿いに広がる自然や農地の保全・活用に努めるとともに、これらの豊かな自然景観との調和を図ります。
	元荒川景観軸	河畔林や周辺の樹林地、歴史資源などの保全や活用を図るとともに、水辺に親しめる都市景観の形成を図ります。
	水の景観軸	河川や水路と周辺の街並みを一体的に捉え、水辺の景観を保全するとともに、水辺を生かした都市景観の形成を図ります。
	道路景観軸	うるおいある道路整備を進めるとともに、沿道において周辺に調和する良好な都市景観の形成を図ります。
	歴史的な道路景観軸	沿道に残る歴史文化資源を保全し、活用を図ることで、歴史や文化に調和した良好な都市景観の形成を図ります。
	鉄道景観軸	沿線の建築物や屋外広告物について、車窓からの視線に配慮するとともに、鉄道施設の修景などを図ります。
景観拠点	都心景観拠点	周辺の歴史文化資源とのつながりに配慮し、風格やにぎわいの感じられる魅力を備え、本市の顔となる商業・業務地を中心とした都市景観の創出を図ります。
	副都心景観拠点	各地区における都市基盤の整備とともに、地区の特性に応じ、個性の感じられる、魅力ある拠点の都市景観の形成を図ります。
	歴史文化景観拠点	歴史文化資源の保全を図るとともに、地域の歴史的なイメージと調和する都市景観の形成を図ります。
	身近な景観拠点	地区の特色ある景観資源を保全・活用し、周辺を含め一体的に調和のとれた良好な都市景観の形成を図ります。

第4節 都市景観形成の推進

